

消防団たずね歩き

～我が本山東分団について～

【分団紹介】

東灘消防団本山東分団は、主に東灘区の東エリアを管轄区域としており、北は芦屋市消防団と共に山火事訓練を行い、南は防潮堤を開閉する役割を担っております。

住宅街での火災はもちろんですが、山火事にも備え、台風時の高潮、津波にも警戒が必要な区域となります。

【団員紹介】

本山東分団は、現在 16 名にて構成されております。

年齢的には、50 代の経験豊富な頼れる先輩方をはじめ、20 代の若手団員も属しており、バランスが取れている状況です。

過去の若手団員には、消防団で経験した事を活かし、現在、神戸や大阪の消防職員として活躍している方も出ており、本山東分団としての誇りとなっております。

【私が消防団に入団したきっかけ】

私の曾祖父と祖父も消防団に所属しており、私が小学生の時には、年末特別警戒の時期になると、祖父に連れて行ってもらい、普段乗っている車とは違うポンプ車に乗せてもらった楽しい記憶がありました。

【日々の活動内容】

基本的に、第 3 日曜日に訓練を行っております。

月々の訓練では、管轄区域内のポンプ点検・防潮堤の点検・放水訓練が主な活動内容となります。

その他、年末特別警戒や防災コミュニティでの地域の方々との交流の場を大事にする事で、防災の意識を持って頂く事に繋がるように活動しております。

【印象に残る火災活動】

令和 3 年春に管内で発生した火災が特に印象に残っております。

炎の勢いがすごく、あっという間に建物は全焼となり、火災の恐怖を身に感じ、防災の重要性を改めて再確認した出来事でした。

【今後の抱負】

大規模火災となると地域住民の手助けが必要となる為に、防災訓練に参加して頂く機会を増やしていく事が重要と考えております。

さらに未来の消防団員を育てる為にも、子供たちとふれあう場も作っていきたいと思います。

(東灘消防団 本山東分団 乾 裕太)

